

大阪情報コンピュータ専門学校 授業シラバス (2020年度)

専門分野区分	ヒューマンスキル	科 目 名	ゼミナールⅡ	科目コード	DL002A1	
配 当 期	前期・後期・ <u>通年</u>	授業実施形態	<u>通常</u> ・集中	単 位 数	<u>2</u> 単位	
担 当 教 員 名	塩濱将悟	履修グループ	2K(DA/DV/MC/SC)	授業方法	講義	授業方法
実務経験の内容	ディレクターとして映像制作会社に5年間勤務した経験を活かして、視聴者に向けた効果的な映像の制作手法や考え方について実践的に講義する。					
学習一般目標	映像業界の職種を知り、自身がどのような場面でのように活躍していくかを考えていく。また、制作時における技術の基礎となる考え方を次の学習を通じて身に付けていく。 ・学生生活における学習・生活スタイルを確立する。・社会生活における基本的なマナーや常識を身に付ける。 ・専門知識・技能習得における自己管理能力を高める。・担任を含めたクラス内のコミュニケーションを深める。					
授業の概要 および学習上の助言	相互コミュニケーションを図ることで学校生活へのスムーズな適応を実現する。 これまでのキャリアを振り返りながら今後の目標を設定する。 毎回連絡事項がありますので、必ず出席すること。					
教科書および 参 考 書	特記ありません					
履修に必要な 予備知識や 技能	日常的に多種多様な映像に触れ、そこに関わっている人の仕事の内容や手法を観察すること。					
使 用 機 器						
使用ソフト						
学習到達目標	学部DP(番号表記)	学生が達成すべき行動目標				
	1.2.3	他者とのコミュニケーションを図ることが出来る				
	2.3.4	自分の考えや意見を自分の言葉で相手に伝えることが出来る				
	2.3.4	学生生活に対して意欲的に取り組むことが出来る				
	2.5	学修目標と日程計画を立てることが出来る				
	2.3.5	他者と協力し、協調して一つの作業に取り組むことが出来る				

達成度評価	評価方法		試験	クイズ 小テスト	レポート	成果発表 (口頭・実技)	作品	ポート フォリオ	その他	合計
	総合評価割合					40	40		20	100
	学部 D P	1.知識・理解				10	10		10	30
		2.思考・判断				10	10			20
		3.態度				10			10	20
		4.技能・表現					10			10
		5.関心・意欲				10	10			20
評価の要点	評価方法		評価の実施方法と注意点							
	試験									
	クイズ 小テスト									
	レポート									
	成果発表 (口頭・実技)		定期的に口頭発表や作品プレゼンを行います。その際、自分の考えを相手に理解できるように伝えられているかどうかを判断します。							
	作品		授業内の提出課題により理解度や技能を判断します。最終的に学内コンテストまたは外部コンテストコンテストへの作品応募を必須とします。							
	ポートフォリオ									
	その他		授業への出席率、取り組み、態度などを含めて総合的に判断します。							

授業明細表

回数／日付	学習内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)
第1週 /	1年次と春休みの振り返り	講義	出席・欠席・遅刻について 2年生の過ごし方
第2週 /	映像制作の仕事について 何が向いているのか GWに向けて学修PFの記入	講義	映像制作にはどのような仕事があるのか 自己分析
第3週 /	誰かのために映像をつくるということ 作品の観かた（芸術作品を例に） 個人面談①	講義、実習	
第4週 /	グループディスカッション① テーマ「最善のチーム決め」 個人面談②	講義、実習	プレゼンテーション
第5週 /	グループディスカッション② テーマ「人気のコンテンツの作り方」 ⇒映像編集応用と連動しCMを制作する	講義、実習	プレゼンテーション
第6週 /	個人面談③	講義	
第7週 /	個人面談④	講義	
第8週 /	作品の観かた（映像作品を例に）	実習	
第9週 /	作品鑑賞（感想文）	実習	
第10週 /	作品鑑賞（評論文）	実習	
第11週 /	グループワークに大切なこと グループディスカッション③ 「リーダーシップとは」	実習	プレゼンテーション
第12週 /	履歴書指導「自己PR」 自分の強み、弱み	講義	
第13週 /	履歴書指導	実習	
第14週 /	履歴書指導「学業以外に頑張ったこと」 夏休みに入る前に～	実習	
第15週 /	デザイン創作演習企画発表 前期終了時点での学修PF記入	実習	プレゼンテーション

授業明細表

回数／日付	学習内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)
第1週 /	1 分間スピーチ 後期開始時点での学修 PF 記入	講義	夏休みの振り返りと後期の 目標設定
第2週 /	就活準備に向けて 後期個人面談①	講義	
第3週 /	後期個人面談② ※個人面談中は面談者以外には実技課題		
第4週 /	後期個人面談③ ※個人面談中は面談者以外には実技課題		
第5週 /	後期個人面談④ ※個人面談中は面談者以外には実技課題 OIC フェスティバル準備	講義・実技	
第6週 /	個人面談⑤ ※個人面談中は面談者以外には実技課題	講義・実技	
第7週 /	1 分間スピーチ (5 人) 自分の考えを簡潔にまとめ、他者に理解させる。 他者の考えを理解し、自分の言葉で発言できる。	講義・実技	プレゼンテーション
第8週 /	1 分間スピーチ (5 人) 自分の考えを簡潔にまとめ、他者に理解させる。 他者の考えを理解し、自分の言葉で発言できる。	講義・実技	プレゼンテーション
第9週 /	1 分間スピーチ (5 人) 自分の考えを簡潔にまとめ、他者に理解させる。 他者の考えを理解し、自分の言葉で発言できる。	講義・実技	プレゼンテーション
第10週 /	1 分間スピーチ (5 人) 自分の考えを簡潔にまとめ、他者に理解させる。 他者の考えを理解し、自分の言葉で発言できる。	講義・実技	プレゼンテーション
第11週 /	1 分間スピーチ (5 人) 自分の考えを簡潔にまとめ、他者に理解させる。 他者の考えを理解し、自分の言葉で発言できる。	講義・実技	プレゼンテーション
第12週 /	1 分間スピーチ (5 人) 自分の考えを簡潔にまとめ、他者に理解させる。 他者の考えを理解し、自分の言葉で発言できる。	講義・実技	プレゼンテーション
第13週 /	1 人ずつ現在の目標をクラスの前で発表する (1 分)	講義	プレゼンテーション
第14週 /	デザイン創作演習最終プレゼンリハーサル 学修 PF の記入	講義	プレゼンテーション
第15週 /	3 年次に向けて		年間振り返り